

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導担当資格の有無	無	
教育学部	准教授	土田幸男			
<b>I 教育活動</b>					
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概要		
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)					
実験を通じた授業の展開		令和元年4月～令和2年3月	大阪体育大学の「知的障害者の発達と心理」および「知的障害者の心理・生理・病理」において、人間の記憶や実行機能の特徴について理解を深めるため、パワーポイントを用いて刺激を呈示した心理学実験を行った。実体験を通すことで、学生たちの理解を深めることができた。		
オンデマンド対応における双方向性を意識した授業の展開		令和2年4月～至現在	大阪体育大学の「学校教育心理学」をはじめとする授業において、コロナ禍での感染対策を踏まえて、動画を作成しオンデマンドの授業を行った。毎回確認テストを実施し、その結果を次回に示して解説を行うことで双方向性を高めるよう意識した。		
DVD等視聴覚教材を活用した授業の展開		令和3年4月～至現在	大阪体育大学の「教育相談A・B」では、各種技法や再現映像などのDVDを用いた。具体的な実例を通すことで理解を深め、学生にも非常に好評であった。		
2 作成した教科書、教材、参考書					
講義用補助教材		平成31年4月～令和2年9月	毎授業ごとにパワーポイントによるスライドを作成し、配布した。一部の重要単語を欠落させた穴あき資料とし、穴埋めをしながら講義を聞くことで、説明している事柄との対応を理解させるようにした。また、色付き文字による強調もルールを定めて行った。適宜マーカーを用いて資料文章に線を引かせ、復習の際の手がかりになるようにした。		
教職をめざす人のための発達と教育の心理学 (再掲)		令和2年4月～至現在	教育学部生を対象とした教育心理学の教科書であり大阪体育大学「学校教育心理学」で用いた。「第6章 自己理解とパーソナリティ」(P51～P58)を担当(編著者:富永大介・平田幹夫・竹村明子・金武育子, 分担執筆:土田幸男, 他25名)		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
4 その他教育活動上特記すべき事項					
<b>II 研究活動</b>					
著書 (単著)					
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月
著書 (共著・分担執筆)					
題目/書名	著者/編者	初(始)頁～終頁	発行所	発行地	発行年月
自己理解とパーソナリティ/教職をめざす人のための発達と教育の心理学	土田幸男 /富永大介	51頁～58頁	ナカニシヤ出版		平成29年5月
ワーキングメモリと注意/生理心理学と精神生理学 第III巻	土田幸男 /室橋春光・苧阪満里子	29頁～39頁	北大路書房		平成30年5月
注意トレーニングの効果/注意の生涯発達心理学	土田幸男 /坂田陽子他	163頁～172頁	ナカニシヤ出版		令和2年3月
原著論文 (審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含まない。)					
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月
Factors leading to improved gait function in patients with subacute or chronic central nervous system impairments who receive functional training with the Robot Suit hybrid assistive limb	M. Nishimura, S. Kobayashi, Y. Kinjo, Y. Hokama, K. Sugawara, Y. Tsuchida, 他2名	Neurologia medico-chirurgica	58	39頁～48頁	平成30年1月
Hyperthymic temperament predicts neural responsiveness for monetary reward.	Y. Ogura, Y. Wakatsuki, N. Hashimoto, T. Miyamoto, Y. Nakai, A. Toyomaki, Y. Tsuchida, 他3名	Journal of Affective Disorders	320	674頁～681頁	令和5年1月
Hyperthymic temperament predicts neural responsiveness for nonmonetary reward.	Y. Ogura, Y. Wakatsuki, N. Hashimoto, T. Miyamoto, Y. Nakai, A. Toyomaki, Y. Tsuchida, 他3名	Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports	2(3)	1頁～10頁	令和5年9月
総説					
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月

その他（「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入）							
区分	題名	著者		誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月
研究ノート	ワーキングメモリと注意—ERPを用いた検討—	単	土田幸男	北海道大学大学院教育学研究院紀要	124	65頁～80頁	平成28年3月
研究ノート	ワーキングメモリと学習方法の関連性	共	土田幸男・室橋春光	子ども発達臨床研究	9	47頁～55頁	平成29年3月
症例報告	子宮頸がんワクチン副作用による認知機能障害が疑われた自閉スペクトラム症患者の認知機能把握に知能検査簡易実施法の施行が有用であった1例	共	土田幸男・富永大介・國場和仁・大屋祐輔・石内勝吾	琉球医学会誌	37	85頁～90頁	平成30年12月
資料論文	大阪体育大学における教育学部学生の性格特性について	単	土田幸男	大阪体育大学教育学研究	5	27頁～34頁	令和3年3月
資料論文	大学における学生相談室の動向	単	土田幸男	大阪体育大学教育学研究	5	35頁～39頁	令和3年3月
資料論文	運動部経験が想定される大学生におけるパーソナルスペースと	共	土田幸男・金谷海久斗	大阪体育大学教育学研究	6	85頁～95頁	令和4年2月
研究論文	視空間ワーキングメモリのトレーニング効果の領域性	共	土田幸男・富永大悟・室橋春光	大阪体育大学教育学研究	7		印刷中

学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等）」、「研究会」等区分を記入）

区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名
研究会	平成29年2月	第2回坂本勉記念神経科学研究会	視覚注意スパンのトレーニング効果の検討	大正大学	土田幸男、宇野智己、米須諒、関あゆみ
国内（一般演題）	令和3年9月	日本体育・スポーツ・健康学会第71回大会	体育系大学学生におけるパーソナルスペースと対人恐怖心性の関係	オンライン	土田幸男
国内（一般演題）	令和4年9月	日本体育・スポーツ・健康学会第72回大会	実行機能と運動習慣の関係についての探索的検討	順天堂大学	土田幸男
国内（一般演題）	令和5年9月	日本体育・スポーツ・健康学会第73回大会	高い運動習慣を有する者における運動と認知機能の関係	同志社大学	土田幸男

科学研究費等の取得状況

科学研究費/その他の助成金/外部資金

区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額（期間内の総額）
科学研究費	若手研究B	発達性ディスレクシアに対する視覚機能トレーニング	代表	平成26年～平成28年	377万円

特許						
特許名称	発明者/出願人	出願日/出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国

### Ⅲ 加入学会および社会における活動

期 間	内 容
加入学会	
平成17年4月～	日本生理心理学会会員
平成18年4月～	日本心理学会会員
平成21年4月～	日本認知心理学会会員
平成21年9月～	日本ワーキングメモリ学会会員
平成26年8月～	日本LD学会会員
令和3年4月～	日本教育心理学会会員
令和3年4月～	日本体育・スポーツ・健康学会会員
社会的活動	
令和元年7月	第89回 大阪体育大学 トワイライト研修会講師
令和元年11月～令和2年12月	貝塚市教育委員会 リーディングチーム研修会講師（計3回）

### Ⅳ 管理活動

期 間	内 容
委員会活動	
令和元年4月～	教育学部 研究委員会
令和元年4月～令和5年3月	全学 研究倫理審査部会
令和元年4月～	全学 動物実験部会
令和5年4月～	全学 ハラスメントの防止等専門委員会
特別プロジェクト活動	

### Ⅴ クラブ活動の指導業績

1. 指導クラブ名	部	2. 役職	例：2009～〇〇 2013～〇〇	3. 部員数	人
4. 現場指導の頻度	選択 ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない				
5. 合宿指導	年間合宿回数：	回	延べ日数：	日	
6. クラブの競技力向上への取り組み	選択	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない			
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	選択	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない			
8. 部員の就職指導への取り組み	選択	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない			
9. 年間の引率公式大会名	大会名	期 間	場 所		
10. クラブ戦績 (全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。)					
開催期間	大会名	成 績	場 所		
<b>VI 賞罰 (職務に関する賞罰)</b>					
年 月	受賞等機関名	内 容	備 考		